

第8章 神明後遺跡第39地点の調査

I 遺跡の立地と環境

神明後遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の東約300m、さかい川の谷頭部から約1,500m下った右岸に位置し、標高12~16m、現谷底との比高差は1.5mを測る。さかい川は本遺跡付近から崖を形成し始め、本遺跡をのせる南側台地は急斜面、対岸の北側は緩やかな斜面を形成している。

周辺の遺跡は、上流に中沢前遺跡、下流に浄禅寺跡遺跡・苗間東久保遺跡が隣接し、さかい川の対岸には富士見市の外記塚遺跡がある。

遺跡周辺は古くからの集落があり、現在でも大きな屋敷地が多く残っていたが、ふじみ野駅の開設に伴い今後徐々に再開発が進むと思われる。

本遺跡の最初の調査は1987年に町史編纂事業の一環として行なわれた。その後1993年に新駅へ延びる道路をはじめ、2010年3月現在36地点で試掘調査および発掘調査が行なわれている。

これまでの調査で縄文時代中期後半～後期前半の住居跡、奈良時代から平安時代の住居跡、中世の建物跡などの遺構を検出した。

II 本調査に至る経過と調査の概要

(1) 調査の概要

調査は共同住宅の建設に伴うもので、原因者より2009年6月29日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の範囲内に位置するため、原因者と協議の結果、遺構等の存在を確認するための試掘調査を実施した。

試掘調査は2009年8月5日から12日まで行なった。幅約2mのトレンチ2本を設定し、重機による表土除去後、人力で表面精査を行なった結果、溝、土坑、ピット等を確認した。旧石器時代の確認調査は行っていない。地表面から遺構確認面までの深さは約40~50cmであり、開発による遺跡への影響が避けられないため原因者と再度協議の結果、原因者負担による本調査を実施した。

本調査は2009年8月24日から9月1日まで行ない、中世以降の溝2本、ピット28基、縄文時代落とし穴1基を検出した。



第38図 神明後遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

Ⅲ 遺構と遺物

①落とし穴

溝1・2より古く、覆土層の観察から縄文時代と考えられる。平面形態は楕円形を呈し、規模は確認面径150×77cm、底径85×15cm、深さ86cmである。

②ピット

ピットは覆土層の観察から中世以降に属するとみられる。詳細は第17表のとおりである。

③溝

溝1・2は東西方向に並行して延びる。両溝ともに東側の掘り込み位置はほぼ同じで、断面形も逆台形である。両遺構の新旧関係は不明であるが、性格や時期等は類似するものとみられる。

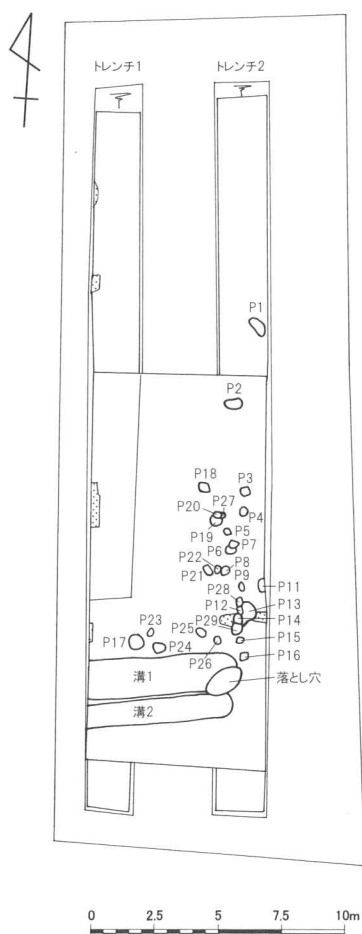
【溝1】溝1は溝2の北側に東西方向に延び、落とし穴より新しい。溝2との新旧関係は不明である。

断面形態は深い逆台形で、規模は上幅132～152cm、下幅78～93cm、深さ69.9cmである。底部は平坦でやや西に傾斜している。

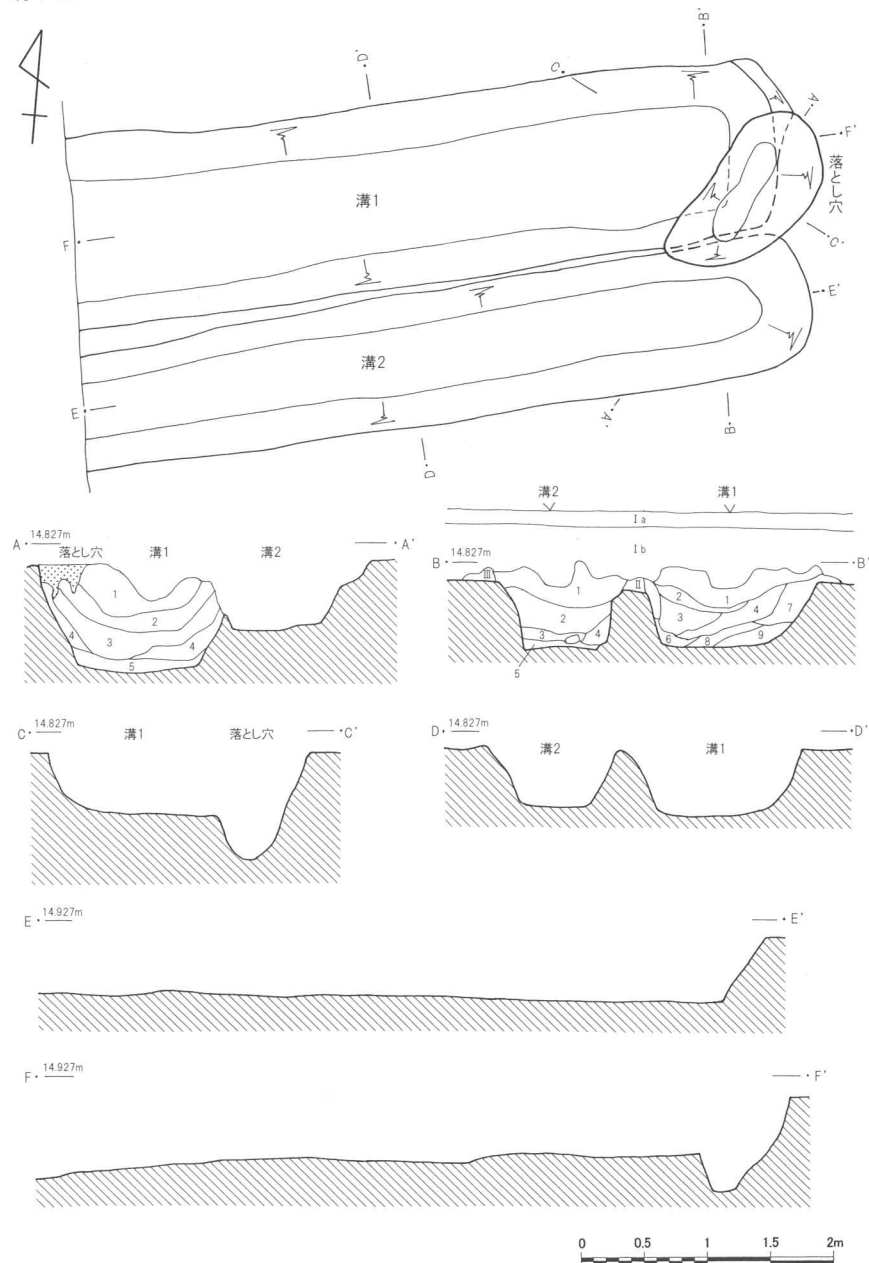
【溝2】溝2は溝1の南側に位置する。規模は上幅90～108cm、下幅43～54cm、深さ52.4cmである。溝1よりやや細いが、断面形は同じである底部も同様に平坦である。

第17表 神明後遺跡第39地点落とし穴・ピット一覧表
(単位cm)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
落とし穴	楕円形	150×77	85×15	86.0	
1	楕円形	87×45	34×20	34.2	
2	楕円形	68×36	17×12	77.2	
3	方形	36×34	24×18	49.0	
4	円形	37×33	13×6	55.2	
5	方形	33×21	9×4	60.3	
6	方形	38×31	13×12	63.0	
7	方形	31×24	10×7	57.3	
8	楕円形	40×25	10×4	60.3	
9	方形	31×23	15×12	55.3	
10	欠番				
11	方形	40×30	17×9	60.2	
12	不明	(38)×(17)	22×(13)	34.0	
13	不明	(97)×-	(75)×-	46.3	
14	方形	37×35	16×14	62.6	
15	方形	28×26	14×12	40.4	
16	方形	28×26	15×15	38.9	
17	方形	57×52	32×27	81.9	
18	方形	47×43	26×7	35.8	
19	不明	46×(30)	15×12	70.5	
20	不明	(36)×(27)	11×10	97.3	
21	方形	40×27	14×9	85.9	
22	方形	35×27	18×12	40.9	
23	方形	30×24	9×5	47.6	
24	円形	46×39	26×15	82.7	
25	方形	30×26	14×11	73.8	
26	方形	33×28	14×7	50.6	
27	不明	(23)×(15)	13×8	45.4	
28	三角形	33×28	12×10	57.4	
29	方形	50×38	13×12	65.7	



溝1・2



落とし穴

1. 黒褐色土 粘性有、締り強、1mm以下ローム粒やや多く、焼土少し含む
2. 暗褐色土 粘性有、締り強、2mm以下ローム粒やや多く、斑状に黒褐色土少し含む
3. 暗褐色土 粘性有、締り強、2mm以下ローム粒やや多く含む、2層より色調明るい
4. 暗褐色土 粘性有、締り強、3mm以下ローム粒多く含む、3層より色調明るい
5. 暗褐色土 粘性有、締り強、5mm以下ローム粒多く含む、締り非常に強い

溝1

I a 表土 整地層(灰白色礫)

I b 表土 耕作土 ローム粒少し含む黒褐色土

II 暗褐色土 粘性有、締り強、黒色土ブロックやや多く含む

III 地山 ローム層

1. 黒褐色土 粘性有、締り強、ローム粒(5mm)少し含む
2. 暗褐色土 粘性有、締り強、ローム粒少し含む
3. 黒褐色土 粘性有、締り強、ローム粒少し含む
4. 黒褐色土 粘性有、締り強、ロームブロック・粒(1cm)やや多く含む
5. 暗褐色土 粘性有、締り強、ローム粒少し含む(下にある縄文時代覆土と似た土を含む)
6. 暗褐色土 粘性有、締り強、ロームブロック(2cm)やや多く含む
7. 暗褐色土 粘性有、締り強、ソフトロームブロック・ローム粒多く含む
8. 黒褐色土 粘性有、締り強、ローム粒やや多く含む
9. 黒褐色土 粘性有、締り強、ロームブロック・暗褐色土ブロック(1~2cm)多く含む

溝2

1. 黒褐色土 粘性有、締り強、ロームブロック(1cm)やや多く、シミ状の暗褐色土ブロック(1~7cm)多く含む
2. 暗~黒褐色土 粘性有、締り強、硬質の暗褐色土ブロック(1~6cm)多く含む
3. 暗褐色土 粘性有、締り強、ロームブロック(1cm)やや多く含む
4. 黒褐色土 粘性有、締り強、ソフトロームブロック(1~7cm)多く含む
5. 黒褐色土 粘性有、締り強、ロームブロック(1cm)やや多く含む

ピット7

1. 黒褐色土 粘性有、締り有、ソフトロームブロック・ローム粒やや多く含む、2層より色調明るい
2. 黒褐色土 粘性有、締り有、ソフトロームブロック・ローム粒やや多く含む

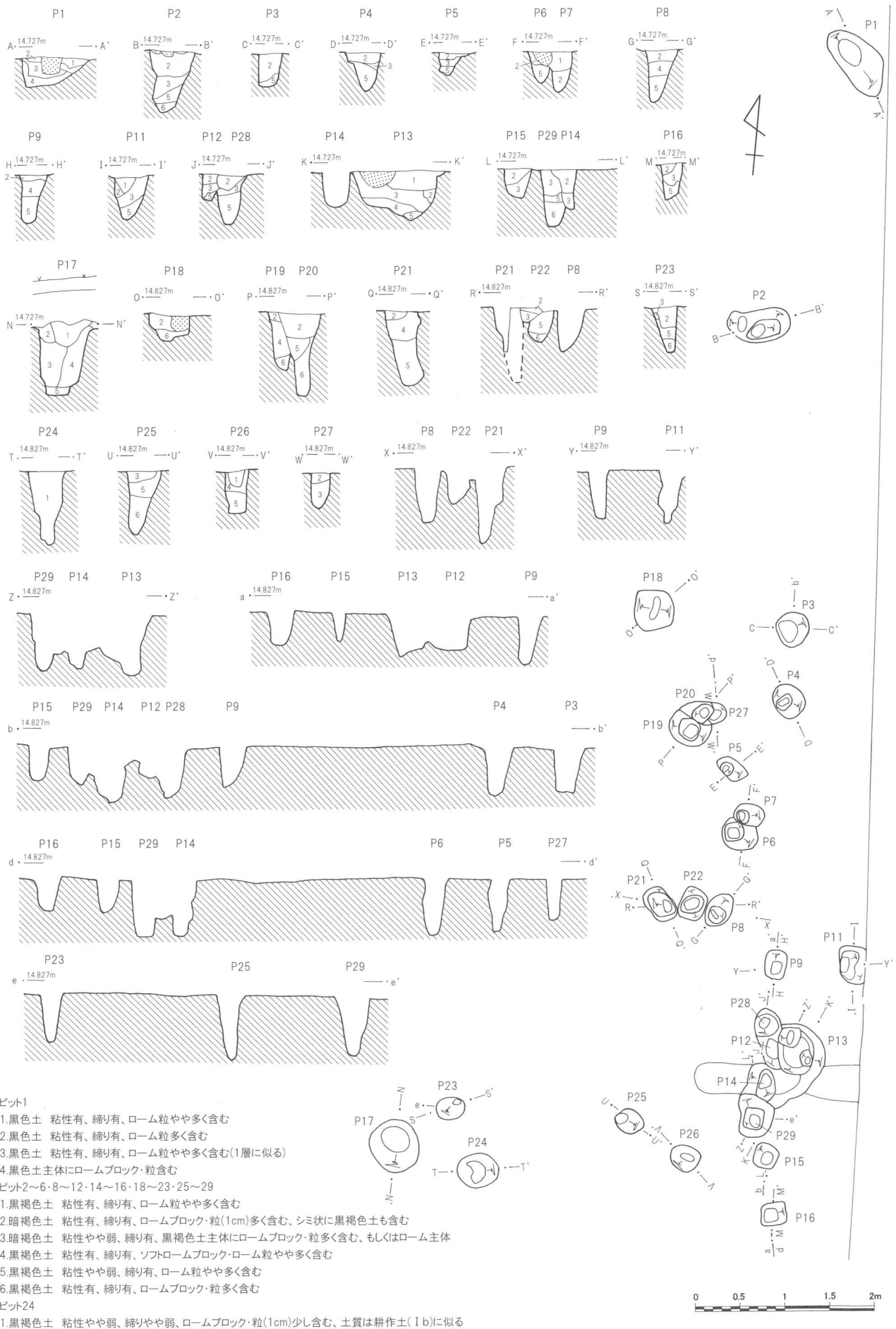
ピット13

1. 黒褐色土 粘性有、締り有、ローム粒やや多く含む
2. 暗褐色土 粘性有、締り有、ローム粒主体
3. 黒褐色土 粘性有、締り有、ロームブロック・粒(1~2cm)少し含む
4. 黒褐色土 粘性有、締り有、ローム粒やや多く含む
5. 黒褐色土主体にロームブロック(1~2cm)含む、締りは強い

ピット17

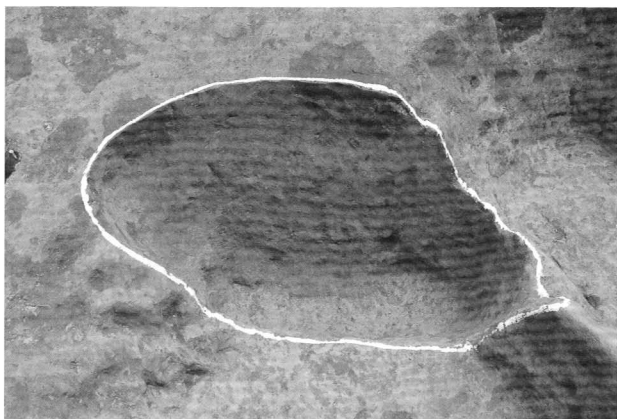
1. 暗褐色土 粘性有、締り有、ローム粒やや多く、シミ状の黒褐色土含む
2. 暗褐色土 粘性有、締り有、黒褐色土主体でロームブロック(5~10mm)多く含む
3. 暗褐色土 粘性有、締り有、ロームブロック・粒(5mm)少し含む
4. 暗褐色土 粘性有、締り有、黒褐色土主体でロームブロック・粒(1~7cm)多く含む
5. 黒褐色土 粘性有、締り強、ロームブロック・粒(5~10mm)やや多く含む

第39図 神明後遺跡第39地点遺構配置図 (1/300)、溝1・2 (1/60)



第40図 神明後遺跡第39地点ピット (1/60)

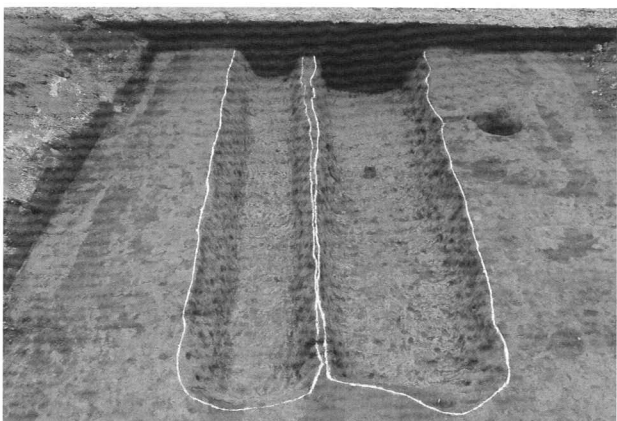
神明後遺跡第 39 地点



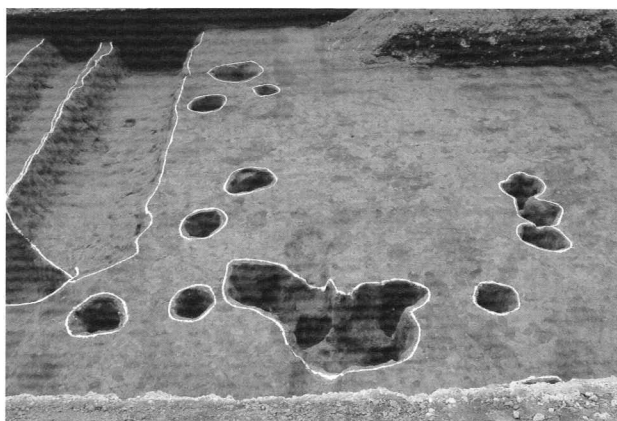
神明後遺跡第 39 地点落とし穴



神明後遺跡第 39 地点落とし穴



神明後遺跡第 39 地点溝 1・2



神明後遺跡第 39 地点ピット、溝 (東から)



神明後遺跡第 39 地点全景 (南から)



神明後遺跡第 39 地点全景 (北から)



神明後遺跡第 39 地点調査風景



神明後遺跡第 39 地点調査風景